2027年3月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

株式会社ヤマウラ　東証プライム（証券コード：1780）

2026年11月10日

おかげさまで一世紀 Yamaura

（本資料の取り扱いについて）

当社の経営目標および将来予測に関する情報は、当社が発表日現在において入手した情報に基づいています。これらの情報は、外部環境やその他の要因によって変化する可能性があり、目標や業績の達成を保証するものではありません。実際の業績は予測と異なる場合があるため、情報に過度に依存せず、投資判断は各自の責任で行うようお願い申し上げます。また、当社は新しい情報に基づいて、これらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

INDEX

1 エグゼクティブサマリー

2 FY2026 第2四半期(中間期)実績

3 FY2026 通期業績見通し

4 中期経営計画2025 進捗状況

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

エグゼクティブサマリー

売上高は前年同期比9.29億円減の182.30億円、営業利益は同0.85億円減の19.51億円、経常利益は同2.17億円減の20.99億円、親会社株主に帰属する中間純利益は同1.35億円減の14.36億円で着地。

中間期は、主力の建設事業を中心に物価高の影響を原価管理と施工効率化で吸収し、売上総利益は前年同期比で増益を確保。前年同期比では減収減益となったものの、期初想定を上回る。

通期の業績予想は、当期純利益が前期比微減となるものの、売上高・営業利益・経常利益ともに過去最高を更新する見込み。とくに売上高は中計最終年度(FY27)の目標を1年前倒しで達成する見通し。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
182.30 億円	19.51 億円	20.99 億円	14.36 億円
前年同期比 △4.8%	前年同期比 △4.2%	前年同期比 △9.4%	前年同期比 △8.6%

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

INDEX

1 エグゼクティブサマリー

2 FY2026 第2四半期(中間期)実績

3 FY2026 通期業績見通し

4 中期経営計画2025 進捗状況

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

連結損益計算書

中間期は施工効率化、原価改善に努め、減収下でも売上総利益は増益を確保(同利益率も前年同期比で1.0pt改善)。営業利益も期初想定を上回る。

(百万円)

	FY2025 2Q	FY2026 2Q	増　減
売上高	19,159	**18,230**	△929
売上原価	15,740	**14,793**	△947
売上総利益	3,419	**3,436**	17
販売費・一般管理費	1,381	**1,485**	104
営業利益	2,037	**1,951**	△86
営業外収益	284	**153**	△131
営業外費用	4	**5**	1
経常利益	2,317	**2,099**	△218
特別損益	0	**△5**	△5
税金等調整前中間純利益	2,317	**2,094**	△222
親会社株主に帰属する中間純利益	1,571	**1,436**	△135

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

連結貸借対照表

総資産は、前期比20.32億円増の380.39億円に拡大。売上債権の回収などで現預金が増加し、営業キャッシュフローが改善。今秋のTOPIX移行措置を受け、成長分野への投資に注力する方針。

(百万円)

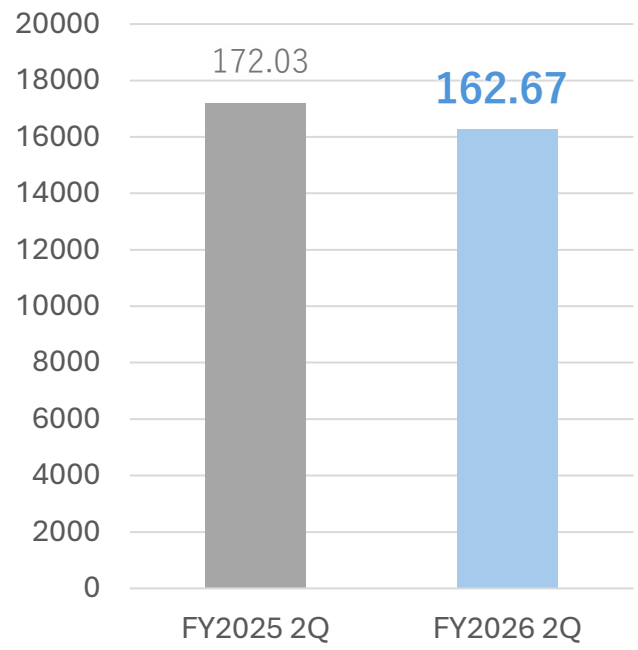
	FY2025	FY2026 2Q	増　減
流動資産	28,209	**28,724**	515
現金及び預金	8,839	**11,392**	2,553
固定資産	7,798	**9,314**	1,516
総資産	36,007	**38,039**	2,032
流動負債	9,739	**11,374**	1,635
固定負債	86	**295**	209
純資産	26,180	**26,369**	189
自己資本比率	72.7%	**69.3%**	△3.4%

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

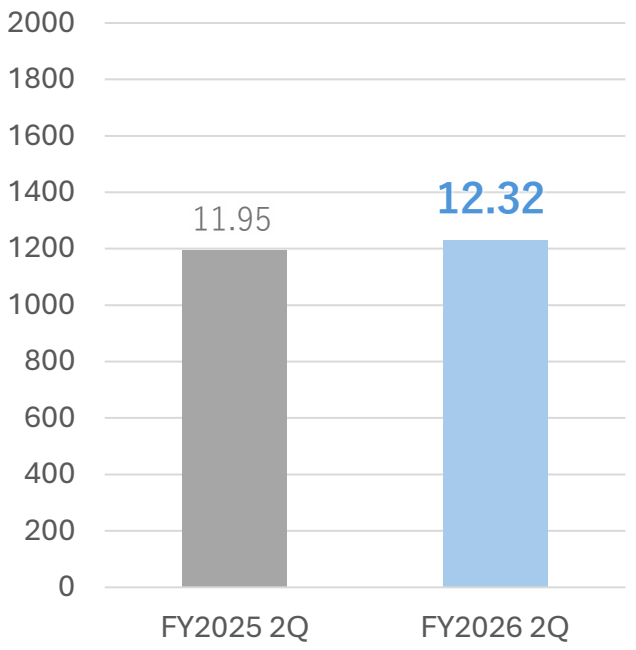
セグメント別 売上高(前年同期比)

中間期は、主力の建設事業が選別受注に努めた結果、前年同期比で微減となったものの、想定内。エンジニアリング事業部は、新規顧客開拓が奏功し、増収基調へ転換。開発事業等は不動産市況、金利動向を見極め仕入れを縮小した影響が響く(構造転換を推進中)。

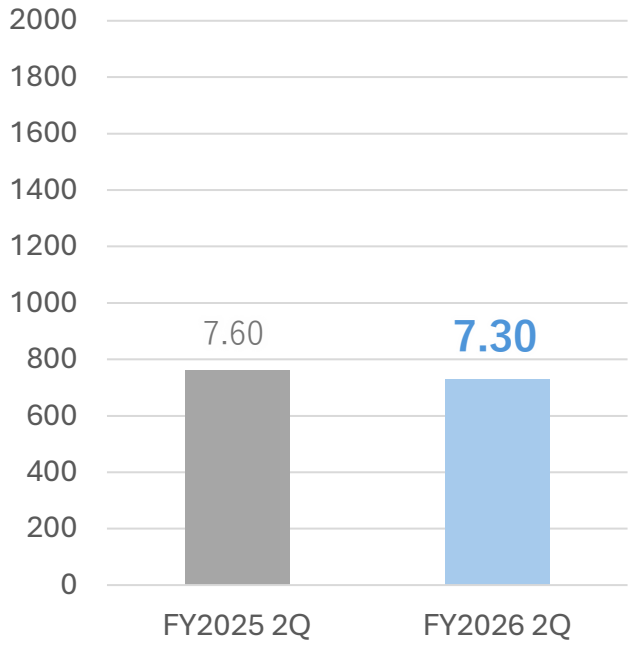
(億円)



建設事業



エンジニアリング事業



開発事業等

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

INDEX

1 エグゼクティブサマリー

2 FY2026 第2四半期(中間期)実績

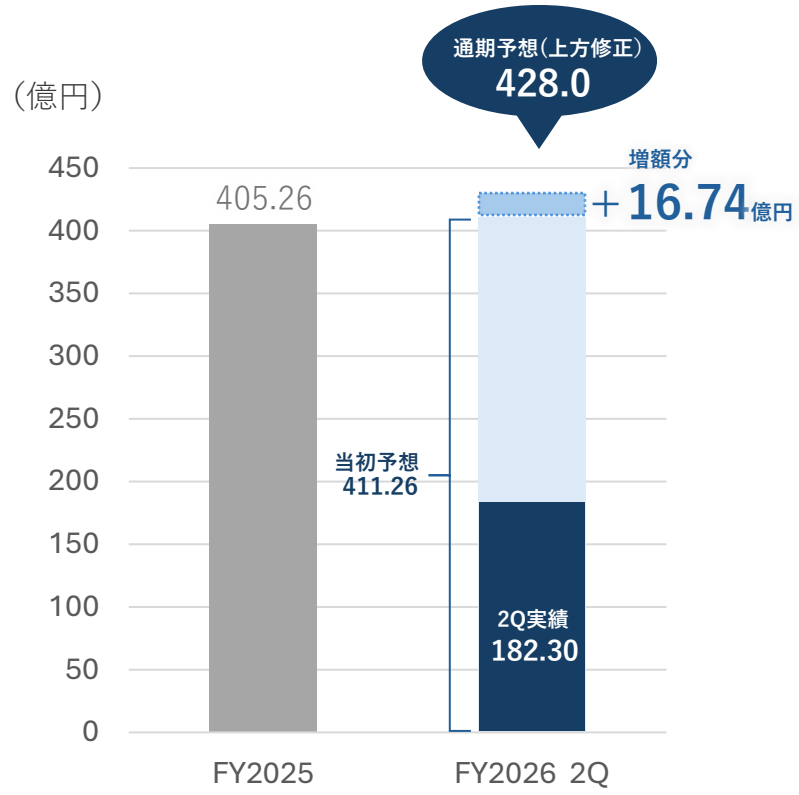
3 FY2026 通期業績見通し

4 中期経営計画2025 進捗状況

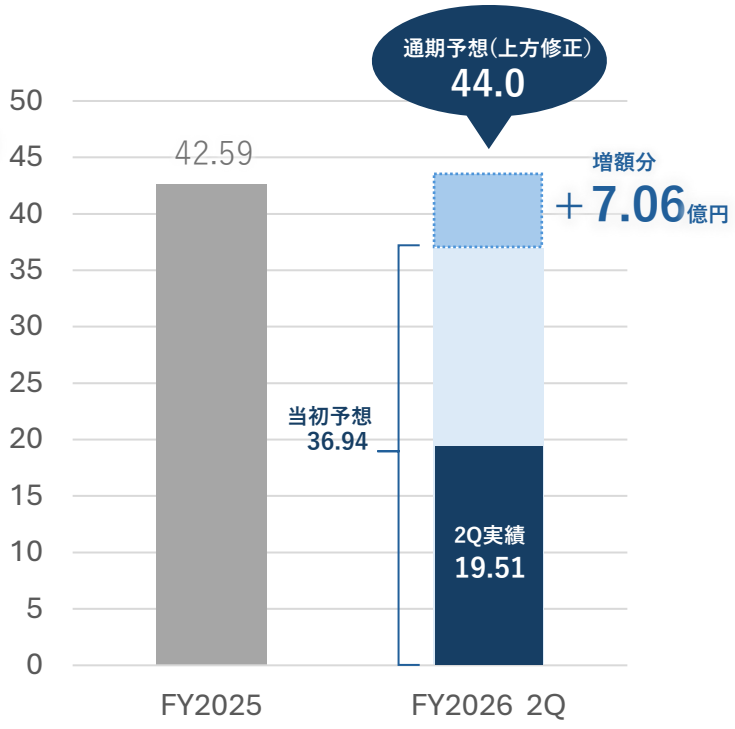
Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

業績予想に対する進捗状況

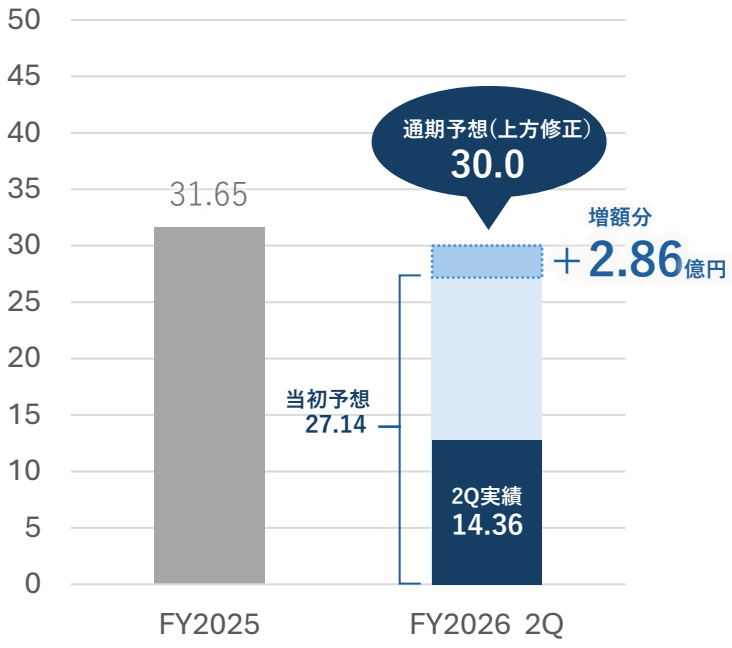
売上高・営業利益・当期純利益ともに期初予想を上方修正。売上高・営業利益は前期実績を上回り、過去最高業績更新へ。中計1st最終年度(FY2027)の売上目標413億円も上振れし、1年前倒しで達成する見込み。



売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

INDEX

1 エグゼクティブサマリー

2 FY2026 第2四半期(中間期)実績

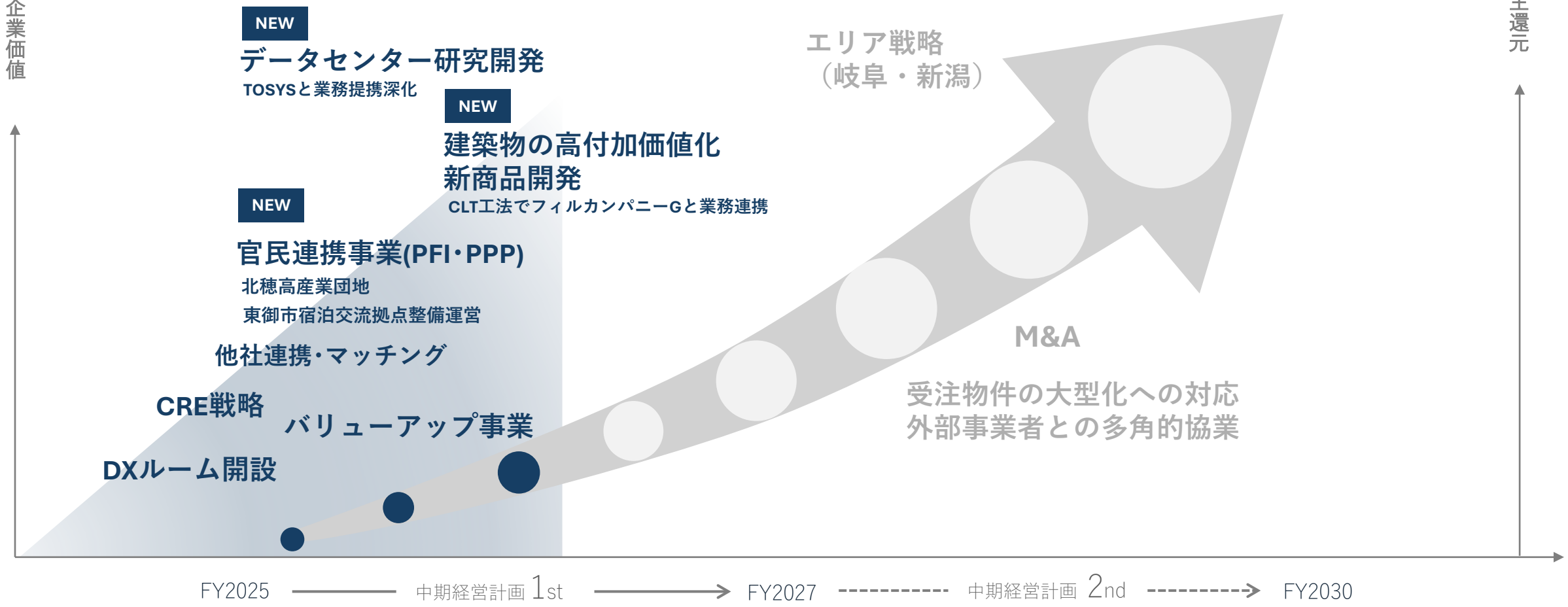
3 FY2026 通期業績見通し

4 中期経営計画2025 進捗状況

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

成長戦略

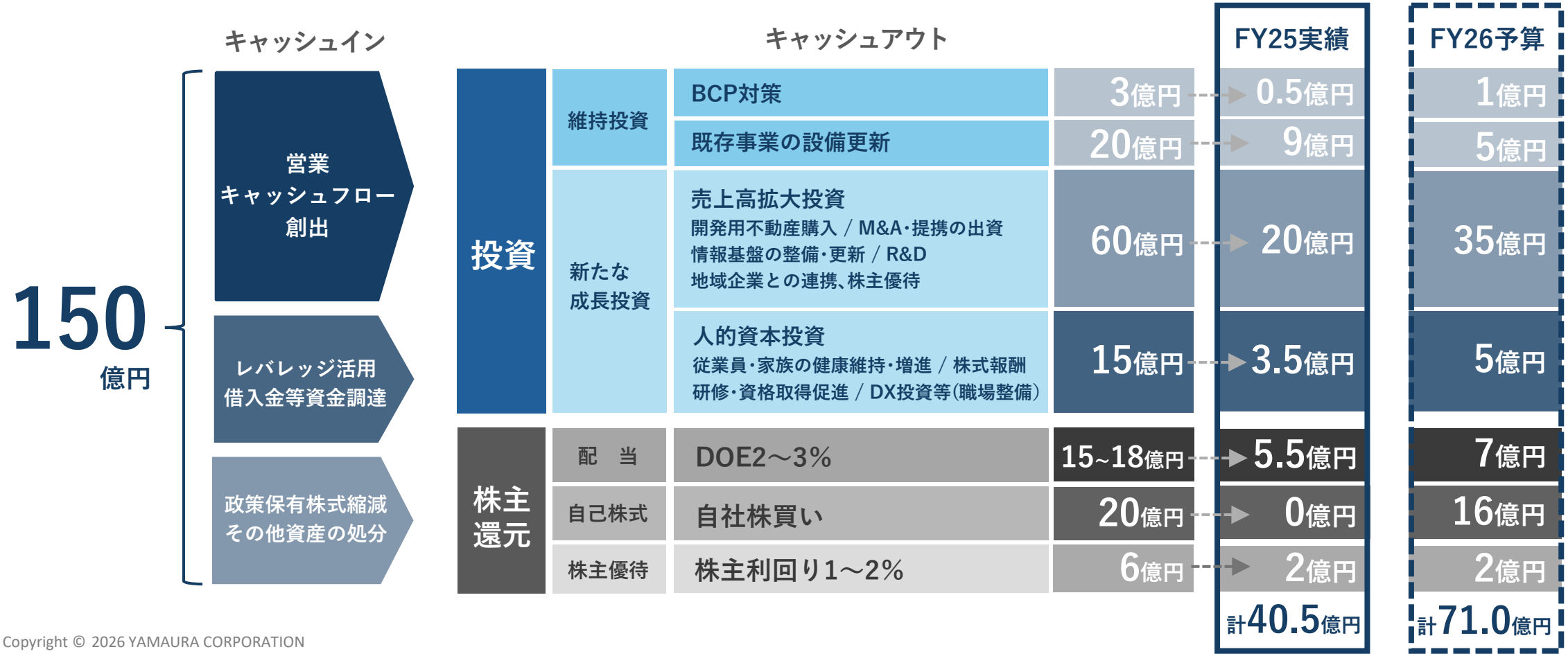
中計1st(FY2025-2027)を計画通り着実に推進中。続く2nd(FY2028-2030)での本格的な収益刈り取りに向けた成長ドライバーの仕込みが順調に進捗。



Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

キャッシュアロケーション

計画150億円に対し、FY25実績40.5億円からFY26予算は71.0億円へ拡大。累計111.5億円（進捗率約74%）と順調に進捗。売上高拡大投資の進捗率は91.7%に達し、成長投資を加速。株主還元も機動的に実行、資本効率の向上を図る。



Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

資本政策・株主還元

計画は順調に進行中。中計1st最終年度(3年目)のB/Sの状況をにらみ、目標の達成を見込む。

			中計３年間計	2年目中間期累計
株主還元	配　当	DOE2～3%	15～18億円	9 億円
	自己株式	自社株買い	20億円	11億円
	株主優待	株主利回り1～2%	6億円	4億円

❶ 配当政策

DOE(自己資本配当率)3.0%へ。
1年目30円(DOE2.1%) ➡ 2年目36円(DOE2.3%)

❷ 自社株買い

自社株買い100万株(上限)、発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.28%。
2026.9月末累計803,100株(11億5,000万円)取得。自己株式消却60万株。

❸ 株主優待

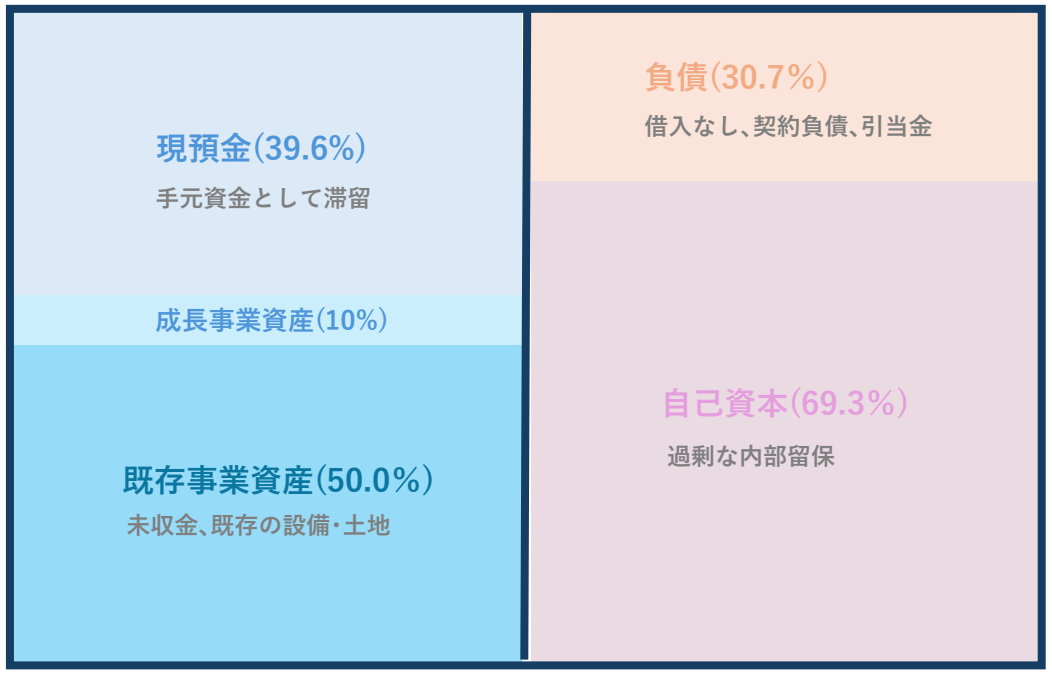
100株保有の株主様の優待利回り約2.4%(2026.9末時価)
選べる株主優待品の単価UP(1年目3,000円 ➡ 2年目3,500円)

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

B/S(資本効率)

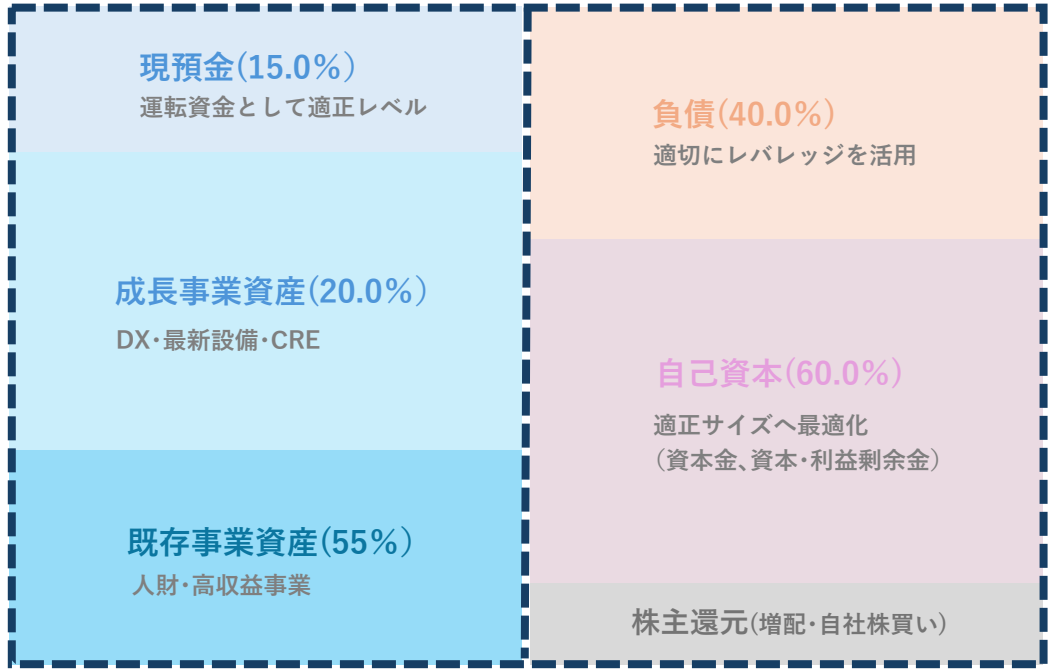
資本効率を高めるため、財務レバレッジの活用と合わせて「未来への成長投資」や「株主還元」を実行し、自己資本を適正なサイズにする。

中計開示以前のB/S(貯蓄型) ※FY2025



経営の安定性を重視し、株主還元も控えていたため、資金が滞留

中計開示以降のB/S(成長循環型) ※FY2030



運転資金を超える現金は、成長投資を中心に振り向け、BSは次の収益を生み出すための構成に組み替え。ROE16%へ向け資本効率を高める

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION

おかげさまで 一世紀 Yamaura

Copyright © 2026 YAMAURA CORPORATION